

平成 27 年度 第 1 回 横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金事業に関する評価委員会会議録	
日時	平成 27 年 8 月 26 日（水）13：00～14：00
開催場所	温暖化対策統括本部会議室
出席委員	荒木委員長、北原委員、田邊委員（3名）※50音順
欠席委員	なし
開催形態	公開（傍聴者なし）
議題	（1）横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金事業の進捗状況について （2）横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金の執行状況について （3）その他
確認事項	1 平横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金事業の進捗状況について確認した。 2 横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金の執行状況について確認した。
資料	横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金事業の概要と実施状況

議事	
事務局	横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金事業の概要と実施状況について
荒木委員長	民間事業者への補助事業についてですが、この事業の実施期間を通して申請は無かったということですか。
事務局	4か月間、募集をおこない、その間、お問い合わせをいただいた事業者様もございましたが、事業者様自身のご負担がある程度必要となることから、最終的に申請には至らなかったようです。
荒木委員長	民間への補助が行えなかった分の予算は、他の事業に使用することができたのでしょうか。
事務局	結果的には、公共施設への設置事業において、単価変動の影響による事業費の上昇があったため、そこに吸収される形になりました。
荒木委員長	単価は、26年度、27年度と共に上昇していたのですか。 26年度は値上がりしたと聞いていますが、その後は多少下がってきたのではないのでしょうか。
事務局	資材単価というよりは、公共工事設計労務単価が上昇したためです。 設備自体は、性能も上がり、単価も下がっており、そうした意味では、大変助かっています。
北原委員	生麦地域ケアプラザと鶴ヶ峰地域ケアプラザは、設備の容量は同じですが、発電実績ではかなり差が出ています。 このあたりについては、設計段階からある程度分かっていたのでしょうか。それとも、実際に設備を設置してみて初めてこのような結果になることが分かったのでしょうか。
事務局	設計の段階から、施設の周辺状況などを勘案すると、理想の形で設置することは難しかったので、発電効率の面ではある程度低くなることは想定していました。結果を見ると、やはり他の施設と比べて発電量が少なくなっていましたので、今後、少しでも発電量が増やせるように工夫できればと考えております。
北原委員	資料に載っているのは冬の時期の結果になりますが、春や夏になると、また結果は変わってくるのでしょうか。
事務局	季節が変わると、太陽の高さが変わりますので、冬場に比べ影になる部分も少なくなるし、影のできる時間も短くなりますので、日影状況の面では改善されると思います。

	<p>ただし、真夏になると、太陽光パネルが熱を持ってしまい、若干発電効率が落ちるので、そうした影響も出てくると想定しています。</p>
荒木委員長	<p>設備のPRについてですが、確かに施設の特性を踏まえると、積極的にPRすれば良いというものではないことは分かりますが、避難訓練とか、そうした機会を捉えて実際に動かしてみるなどして、年1回とか、実際に設備を使用する方に呼びかけるようなことをしていただきたいと思います。</p>
北原委員	<p>保守・点検といったことは、今後、どのようにやっていくのですか。</p>
事務局	<p>太陽光パネルと蓄電池なので、保守などはそんなに多く必要はないと考えておりますが、施設全体で行う電気設備の動作確認と併せてやっていきたいと考えております。</p>
荒木委員長	<p>今回の工事は入札で4件決めておりますが、このほかに基金の支出を行う予定はありますか</p>
事務局	<p>資料に掲載しているほかは、評価委員会の運営費のみです。</p>
田邊委員	<p>実施期間を通して、施設側からも全くマイナスの意見などは出ておりませんし、比較的順調に進行しているという印象を受けています。</p>
事務局	<p>事業の実施にあたりましては、施設の運営者をはじめ、皆様にご協力いただいたお陰でとてもスムーズに進められており、大変助かっております。 これから、最後のグループ13施設の工事が始まりますが、引き続き、ご協力をいただいで進めていきたいと思ひます。</p>
北原委員	<p>運用面で、施設の方々からアンケートを採ったりする予定はありますか。 例えば、この設備を付けたことにより、温暖化対策への意識が変わったとかそうした効果を図るために。</p>
事務局	<p>今のところそうした予定はありませんが、アンケートを通じて意識の変化も期待できるかもしれませんし、有効かもしれません。</p>
北原委員	<p>せっかく環境省の補助金を使用させていただいて、また、環境や温暖化問題に直接つながりの無い、福祉の現場にいる方々が、そうした施設を運営していくという、分野を横断する取り組みでもあるので、そうした効果も計っていただければと思ひます。</p>
事務局	<p>福祉と温暖化対策は、普段は直に関わりの薄い分野でありますので、こうした機会を通じて温暖化対策に対して興味を持っていただくというのは大切なことだと思ひますので、引き続き、PRの一部として、アンケートなどの</p>

<p>荒木委員長</p>	<p>取組も計画していきたいと思います。</p> <p>停電になったときに少しでも電気が使用できるというのはとてもありがたいことですし、発電能力がどの位普段の施設運営に役立っているのかということも、是非、一度実感していただきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日はどうもありがとうございました。</p> <p>ご意見いただいたとおり、設置した設備をいざというときに使えなければいけません。</p> <p>災害時に設備を役立てられるよう、我々の方から施設側にPRし、意識啓発をすることに力を入れていく必要があると改めて感じました。</p> <p>今後も13施設の工事がありますので、無事竣工し、次回、良い形で最終報告したいと思います。</p> <p>引き続き委員の皆様のご助言等をいただきながら実施していきたいと考えております。</p> <p>次回の開催は平成27年度末となります。開催時期につきましては、後日お知らせいたします。</p>